

3. 基本事項（計画諸元）の決定

3.1 需要予測結果の整理

「2.2 水需要予測」より、対象地区の平成 28 年度及び平成 49 年度の給水人口及び給水量を表 3-1 に示す。

平成 49 年度における対象地区の配水量及び一日最大給水量は、それぞれ平成 28 年度の 91.5%、96.9%となっている。

表 3-1 平成 28 年度及び平成 49 年度における地区別給水人口と給水量

地区	検討対象	給水人口(人)		一日平均給水量(m3/日)	
		H28	H49	H28	H49
鶴山台配水場	○	25,134	24,269	6,871	6,285
鶴山台高架タンク	○	9,799	9,462	2,864	2,620
山荘配水場	○	26,542	25,629	8,371	7,657
山荘高架タンク	○	2,676	2,584	535	489
中央受配水場	○	44,311	42,787	12,015	10,990
はつが野配水場	○	45,286	43,727	14,529	13,290
テクノステージ配水池		1,226	1,184	1,398	1,279
光明台高区配水場	○	16,313	15,752	3,441	3,148
光明台高区配水塔	○	3,298	3,184	839	767
みずき台配水塔	○	4,021	3,883	2,494	2,281
坪井配水池(H28に休止)		4,052	3,913	1,385	1,267
南面利配水池		600	579	160	146
父鬼配水池		429	414	149	136
父鬼浄水場		493	476	175	160
若樫配水池(H28に休止)		631	609	263	240
春木川配水池(H30に廃止予定)		243	235	17	16
九鬼簡易水道(H29に廃止)		243	235	61	56
和泉市合計		185,297	178,922	55,567	50,827
うち対象地区		177,380	171,277	51,959	47,527
		(H49/H28)	96.6%	(H49/H28)	91.5%

	一日最大給水量(m3/日)	
	H28	H49
和泉市合計	60,845	60,508
うち対象地区	58,381	56,580
(配水量÷負荷率)	(H49/H28)	96.9%
負荷率(%)	89.0	84.0

3.2 基本事項（計画諸元）の決定

施設整備における計画諸元として、計画一日最大給水量及び各施設能力の決定を行う。

「2.1 現況の把握」より、検討対象施設の一部は15～20年間に法定耐用年数を迎えることから、計画期間は平成30～49年度の20年間とする。

また、表3-1より、将来の一日最大給水量は減少傾向にあるが、水需要予測の最終年度である平成49年度においても、平成28年度から約2.9%の減少であり、実績と大差はない。

このため、本計画では、施設の安定性を考慮し、平成28年度実績値を計画一日最大給水量とする。

また、各施設能力は、平成28年度実績より、以下のとおりとする。

<基本事項>

○計画期間：平成30～49年度（20年間）

○計画一日最大給水量：60,845 m³/日（平成28年度実績値）

うち対象施設は58,381 m³/日

○施設能力：以下のとおり

・鶴山台配水場：11,005 m³/日（配水池(7,402)+配水塔(3,603)）

・山荘配水場：10,047 m³/日（配水池(9,264)+配水塔(783)）

・中央受配水場：16,522 m³/日

・はつが野配水場：16,822 m³/日

・光明台高区配水場：5,578 m³/日（配水池(4,410)+配水塔(1,168)）

・みずき台配水塔：3,182 m³/日

※各施設ごとの実績最大値を採用している。